

時を織る。龍村平藏

創業
百十年
記念

Heizo
Tatsumura

京都の老舗、進化し続ける龍村美術織物。

創業者・初代龍村平藏は、経糸と緯糸で構成される織物を、独特の陰影をたたえた立体の造形としてとらえ、新技法を次々に生み出しました。数々の特許を取り、織物を芸術の域まで高めた先駆者として近代染織史に大きな足跡を残しています。以来、四代平藏にいたるまで、きらびやかな錦の帯、正倉院や法隆寺に伝わる古代裂の復元、祇園祭など各地の祭りの山鉾などにかけてられる懸装品などで、今なお染織分野の最高峰であり続けます。

本展は、創業120年を記念して、各時代の帯や打掛、陣羽織などの代表作をまじえた約300点で、龍村美術織物の華麗な美を紹介します。高い技術を駆使した、独創的な文様の傑作の数々をお楽しみください。

生涯にわたって初代平藏の支援者であった高島屋飯田新七から始まる、高島屋と龍村美術織物の1世紀を越える歴史もひもときます。



厚板「霰鱗桐鳳凰文」



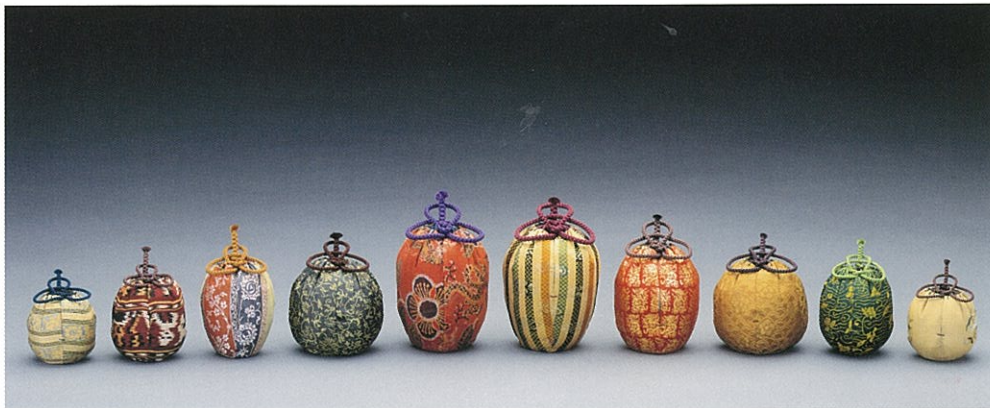
可祝獅子文



駝乗彈奏文



青貝錦



仕覆(復元)

打掛「額額織瑞兆華禽錦」
(学校法人マノ学園真野美容専門学校)



ギャラリートークのご案内
5月24日(金) 午前11時
5月25日(土) 午前11時
5月26日(日) 午前11時

丸山伸彦(武蔵大学教授・本展監修者)
龍村旻(四代龍村平藏・龍村美術織物社長)
白井進(龍村美術織物顧問)

 **Takashimaya** YOKOHAMA
www.takashimaya.co.jp